

2024.08.09(金) 定時制・通信制高 仲間が玩具で親睦

～とうほくT2 さみっと【岩手日報】

定時制・通信制高

仲間が玩具で親睦

とうほくT2さみっと

盛岡

盛岡市上田の
杜陵高（三田正

日校長、生徒417人）は6日までの2日間、東北の定時制・通信制高の交流会「とうほくT2（定通）さみっと」を初めて開いた。生徒たちはブロック玩具による自己表現などで親睦を深めた。

青森、秋田、福島の3県3校を含む計11校の約60人が同校に集った。6日は、一人一人が「私が実現したい未来」をブロックで制作。5〜6人のグループごとに、最先端技術の普及や自由を手に入れるなどの考えを紹介し合い、さらに、アイデアをつないで理想社会へ想像を膨らませた。

多様性を認め合う「平和」を望んだ、杜陵高通信制の水野花梨さん（3年）は「最初はみんな緊張が顔に出ていたけれど、笑顔で交流できて楽

実現したい未来について語り合う生徒たち



しかった」と充実した様子だった。

定時制・通信制は、普通高と比べて生徒数が少ない傾向にあり、学校生活での人間関係に限られる。三田校長は「人との関わりを通じて、自分や未来を変えていけるという気持ちを持ってもらいたい」と話した。

交流会は同校創立100周年記念事業の一環。5日は、自衛隊の災害派遣用の入浴車両や非常食調理、教室での宿泊も体験した。

※ 岩手日報 2024年8月9日(金)付 この記事は岩手日報の許諾を得て転載しています。